



おいしいレシピの紹介

家庭でコロケを作るとなると、衣を付ける手間がわずらわしく感じられますが、これは「衣を付けないコロケ」と言ってもいい、お手軽な料理です。揚げると表面はカリッと香ばしく、中はふんわりした食感です。ツナのかわりに「かにかまぼこ」などを使うとまた違ったおいしさです。ぜひお試しください。

作り方

- ① ジャガイモは皮をむき、茹でてつぶす。
- ② にんじん、パセリはみじん切りにする。
- ③ ①②とツナ、塩・こしょう、卵、片栗粉を混ぜ合わせる。
- ④ パン粉を加えて硬さを調節し、手で握って小判型にする。
- ⑤ 油で揚げる。
- ⑥ ケチャップとソースを合わせ、お湯少々でのばしたソースを添える。

●今回のレシピの紹介は高陵中学校です
 自校給食で約550人分の給食を、調理員5名、栄養士1名で作っています。旬の食材を活かし、作りたてのおいしい給食を第一に心がけています。きょうも、「いただきます!」「はい、どうぞ!」の音が響きあう給食室です。

材料 (4人分)

ジャガイモ	400g (3個)
ツナフレーク	40g (1/2缶)
パセリ	少々
にんじん	30g (1/5本)
塩・こしょう	少々 (1g)
卵	1個
片栗粉	小さじ2
パン粉	大さじ2~3
揚げ油	適宜
トマトケチャップ	適宜
中濃ソース	
湯	



『りんごとけんだま』
 鈴木康広／著 ブロンズ新社
 りんごとけんだまは、仲がいい。
 ヒントは「ひっぱる力」。
 りんごとけんだまの不思議な関係から、発想がどんどん広がっていきます。



『地球のかたちを哲学する』
 ギョーム・デュブラ／著 博多かおる／訳 西村書店
 地球って本当に丸いの?今はみんな丸いって知っているけれど、昔の人たちは知らなくて、どんな形だろうっていろいろ考えました。この本はさまざまに描かれてきた地球の形を紹介しています。親子で楽しめる科学しかけ絵本。



『ずかん文字』
 八杉佳穂／監修 技術評論社
 古代から現代まで、文字の種類は300ほどだそうです。それらはたった4つの系統に分けられるそうです。この本ではその300のうちの60種類を紹介。文字を切り口に世界の民族や文化もわかります。いろんな文字で自分の名前を書いてみるのも楽しい!

おやこのほんだな

飯田市立
 図書館からの
 おすすめ本



発想の転換を楽しもう
 まもなく新学期、新しいことをはじめてみるのにもいい季節です。そんなこの時期には、ものの見方が変わるような本を手にとってみませんか?
 今まで当たり前と思っていたことを、逆から、ナナメから、横から見てみよう!なにか新しいことが見つかるかも知れません。

図書館のホームページから本の検索もできます

飯田市立図書館 🔍



表紙絵
 壬生なつ美さん、宮下正成さん
 2018飯田養護学校中学部カレンダー作品

Hagu(はぐ) 2018.3 vol.4 飯田市教育委員会がお届けする子どもを はぐくむ 情報誌 2018年3月9日発行 飯田市教育委員会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534 ☎0265-22-4511



飯田市教育委員会
 がお届けする
 子どもを
 はぐくむ 情報誌

飯田市
 教育ビジョン
 地育力による
 未来をひらく
 心豊かな人づくり

Hagu(はぐ) 2018.03 vol.4

ICT教育の推進

飯田市では、ICT を活用した分かりやすい授業づくりや、子どもたちの主体的で協働的な学習活動に取り組んでいます。

ICT 教育ってご存知ですか？

ICT とは、Information and Communication Technology の頭文字をとった略語であり、「情報通信技術」を意味します。ICT 教育とは、電子黒板、タブレット端末、インターネット通信など情報通信技術を活用した教育手法であり、先生と子どもたちの双方向による学習や、子どもたち同士の話し合いなど、主体的で協働的な学習に重きを置いているのが特徴です。



飯田市の ICT 教育の取組

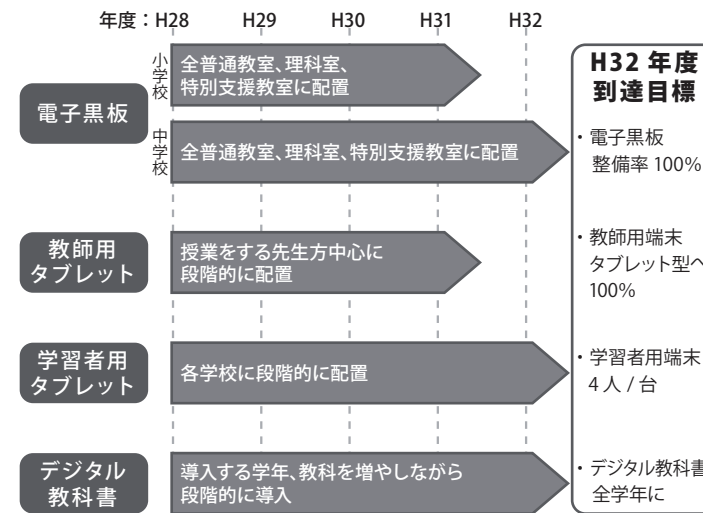
飯田市固有の教育課題を、ICTを活用し解決するため、竜東中学校区、旭ヶ丘中学校区、遠山中学校区の3中学校区の小中学校をモデル校に指定し、ICT教育の実証研究に取り組んでいます。

モデル校を中心に電子黒板やタブレット端末など ICT 機器やデジタル教科書の導入、学校のネットワーク整備など環境整備を進めています。また、ICT 教育コーディネーターの配置や研修会の実施など、各校の ICT 教育の取組を支援しています。

平成30年度から全校に ICT 機器等を導入し始める予定です。学校の授業において ICT を効果的に活用することで、子どもたちの学習意欲や、学力、コミュニケーション能力などの向上を目指します。

ICT 教育環境整備に向けて

飯田市では、ICT 教育の環境整備を計画的に推進するため、平成28年度に5年間の中期計画を策定しました。今後この計画に基づき、段階的に環境整備を進めていきます。



「新しいゲームを買う代わりに、自分で作ってみよう。便利なアプリをダウンロードする代わりに、自分でデザインしてみよう。」

テクノロジーの進化はとどまることを知りません。今の子どもたちが大人になるころには、今ある仕事の半分は AI (人工知能) に取って代わられるだろうとも言われています。そんな時代に、コンピュータに振り回されるのか、上手く使いこなしていけるのかは大きな違いです。

飯田市では、平成 28・29 年度の 2 年間、モデル校 (10 校) で ICT 教育の実践と研究を重ね、子どもたちの主体性や多様性を育む実践例が報告されています。来年 30 年度からは、小中学校全校 (28 校) に電子黒板を入れ、教科書などを大きく映し出し、音声や動画などで学習をより分かりやすくしていきます。テクノロジーを味方につけ、自分の人生や社会をより豊かにデザインしていける子どもたちを、みんなではぐ (HAGU) くんできませんか？

モデル校における取組

グローバル化に対応する思考力・判断力・表現力の育成

竜東中学校区



① まずは、各校で日常的なデジタル教科書の活用をめざしています。わかりやすい問題提示と、動画等を活かした内容理解に努めています。児童の納得の音が聞かれます。(小1年算数)



② 既習内容から課題解決の糸口を見つたり、友達の考えと比較しながら様々な考え方に触れる中で、根拠をもって自分の考えをまとめ、相手に分かるように発表します。(小4年理科)



③ タブレットのドリルアプリの活用。単元終了時の復習や各校のドリル常時間等で繰り返し、学習内容の定着を図ります。集中して取り組む姿が見られます。(小3年算数)



④ 中学校では、「RESAS (リーサス)」のビッグデータを使って、三遠南信自動車道の開通に向けて、飯田市の課題解決策を探ります。探究型の学びでは情報活用能力が大切です。(中1年総合)

特別支援教育・不登校児童生徒の学力保障

旭ヶ丘中学校区

旭ヶ丘中学校区では、特別支援教育や不登校の子どもへの支援のための ICT の可能性を研究しています。iPad と様々な学習用アプリケーション (アプリ) を授業の中で試すとともに、個々の子どもにどんな手立てが有効かを探る手段について、提携業者と共同で研究を進めています。

様々な個人学習用のアプリがありますが、中でも子どもが読み上げている教科書の文をハイライトしながら順に読んでいくアプリは、行替えなどでどこを読んでいるかわからなくなりがち子どもや、読みが苦手な子どもにとっては、大きな助けになりそうです。



該当箇所を強調しながら教科書を読み上げる「ディジー教科書」

小規模校・少人数学級における多様性の育成

遠山中学校区

遠山中学校区3校は、「遠隔会議システム」を活用した学習や交流を進めています。2月にこのシステムを活用し、小学校英語活動のモジュール授業*と算数の合同授業を行いました。英語活動のモジュール授業では、遠山中の英語教師と ELT の先生が、遠隔システムにより上村小と和田小の児童たちに英語の指導を行いました。また算数の授業では、和田小の先生の指導のもと、和田小と上村小の児童が別々の教室にしながら一緒に授業を受けました。

これからも、遠隔システムを活用したより良い授業づくりに取り組んでいます。

※45分授業を分割した短時間学習



遠山中の先生方と和田小の子どもたちの様子をみる上村小の子どもたち

ICT の可能性

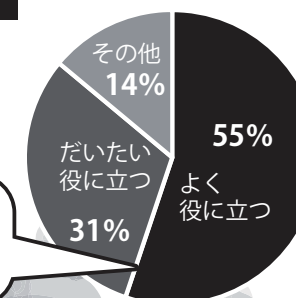
ICT モデル校の児童生徒や先生方に、ICT 教育に関するアンケートを実施しました。

多くの児童生徒や先生方から、授業をよりよくする ICT の可能性が感じられる回答をいただいています。

児童生徒への質問

問：タブレットやパソコンなどを使った授業は、自分たちの学習の役に立つと思いますか

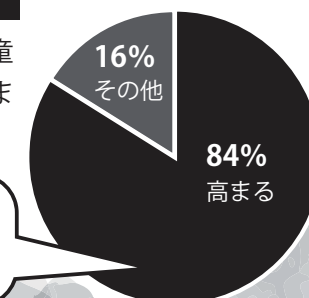
児童生徒の86%が、学習に役立つと回答



先生方への質問

問：ICT機器を利用すると児童生徒の学習意欲が高まると思いますか

先生方の84%が、学習意欲が高まると回答



旭ヶ丘中学校区



旭ヶ丘中学校

自ら学ぶ力を高めることに力を入れています。そこで、「榎（かや）の木学習室」と名付けた学習スペースを職員室前廊下に開設しました。休み時間や放課後の時間を使って、大勢の生徒が学習をしています。分からないことがあれば、自ら職員室に赴き、先生に質問するなど、自主的に学習しようとする確かな姿が見られるようになりました。

生徒数：654 名
クラス数：24 クラス
創立：昭和 60 年 4 月



職員室前廊下に開設された榎の木学習室

伊賀良小学校

昨年度から、子どもたちの体力向上に向け、「いがらっ子元気プロジェクト」に取り組んでいます。朝のパワーアップタイムでは、楽しみながらマラソンや体ほぐし体操を行います。また、基本的な生活習慣を身につけるため、地域や家庭と連携して「早寝早起き朝ごはん歩いて登下校」に取り組み、一丸となって元気な児童を育てています。

児童数：900 名
クラス数：35 クラス
創立：明治 5 年 6 月



いがらっ子元気プロジェクト

山本小学校

山本の元気な子どもたちの特性を生かして、「自ら」を合言葉に活動を行っています。主に、自分を鍛え磨く活動として全校マラソンの実施や、自分から挨拶をして気持ちの良い環境づくりなどに取り組んでいます。また、児童会活動を中心として、新たに縦割り班を取り入れ、清掃や給食、読み聞かせをしています。山本小学校ではこのような活動を通して、明るく、元気で、さわやかな子どもをめざしています。

児童数：220 名
クラス数：11 クラス
創立：明治 7 年 4 月



上級生と下級生の交流

*児童数・生徒数は平成 30 年 3 月 1 日現在のものです

竜東中学校区



竜東中学校区は、平成 24 年に小中連携・一貫教育のモデル校区に指定され、それと同時に小中学生が地域住民、同窓生、学校職員とともにふるさとの未来について話し合う「ふるさと竜東の集い」が始まりました。この学区は他にも修学旅行などの学校行事を小学校合同で実施するのをはじめ、小中でよこね田んぼの農作業を行っています。これらの活動を通して、地域としての連帯感を高めるとともに、地域に誇りや愛着を持てるような子どもを育てています。

竜東中学校

開校当初から造園委員会を中心に、全校で学校花壇づくりに取り組んでいます。今日までに数々の賞を受賞しており、今年度の FBC 花壇コンクールでは「農林水産大臣賞」を受賞しました。長く続けているこの活動を通して、全校生徒は花を育てる充実感と喜びを味わいながら、花を愛する心を育てています。

生徒数：69 名
クラス数：5 クラス
創立：昭和 45 年 4 月



FBC 花壇コンクールで農林水産大臣賞受賞

上久堅小学校

「もっと地域を知りたい!」そんな子どもたちの願いから、地域の方々とともに様々な活動を行っています。今年度は、地域のシンボルでもある神之峰を題材にして、4 年生がふるさと CM 大賞へ応募する作品作りに取り組みました。また、上久堅を学ぶ会方言部会のみなさんとともに、方言版人形劇の上演も実施しました。

児童数：45 名
クラス数：7 クラス
創立：明治 9 年



ふるさと CM 大賞作品づくり

千代小学校

子どもたちの創造力や表現力をつけることを目的に開催している全校ダンスパーティーも、今年で 15 年目となりました。1～6 年生の縦割りチームを構成しており、高学年が中心となって振付を考え、当日の発表会に向けて、チーム一丸となって練習をします。今年もみんなで楽しみながら発表会を迎えることができました。

児童数：50 名
クラス数：6 クラス
創立：明治 9 年



全校ダンスパーティー

千栄小学校

「普段の歯磨きを丁寧にやろう」を学校歯科保健目標に掲げています。年 5 回の歯科医等によるブラッシング指導、全校一斉の染め出し、千栄小秘伝の「順番磨き動画」を観ながらの給食後の歯磨きを行っています。このような長年に渡る取り組みが認められ、今年度優良 PTA と併せて、良い歯の学校表彰文部科学大臣賞を受賞しました。

児童数：25 名
クラス数：6 クラス
創立：明治 8 年



千栄小秘伝の歯磨き



良い歯の学校表彰文部科学大臣賞



親子で向き合う情報モラル・基礎知識 シリーズ 第4回

インターネットのルールづくりは自分たちで!!

インターネットや SNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス) は、とても便利なコミュニケーションツールですが、使用にあたっては自らルールをつくり、守っていくことが重要です。学校でも、子どもたち自らがルールをつくり、実践していく取組が行われています。今回は、旭ヶ丘中学校の取組について紹介します。



生徒主導でルール作成

旭ヶ丘中学校では、SNS の使用について生徒会主導により独自のルールを作成し、実践しています。ルールづくりに向け、生徒たち自ら SNS の使用に関するアンケートを実施しました。アンケートを通じて確認された課題等について、生徒会役員が検討を重ねながら案を作成し、生徒総会にて承認しました。

自分たちで作成したルールを、生徒手帳の「生活の心得」の項目に新たに加え、家族にも確認いただきながらルールに則った使用を心掛けています。



約束事項 —SNS利用について—

- (1) 自分も、相手も学習や健康に支障のない時間までとする
- (2) 個人が特定できるような情報を載せるのはやめる
- (3) 悪意のある書き込み、他人が見て不快に思うような書き込みをするのはやめる
- (4) 安全に安心して SNS が利用できるようにお互いに常に心がける

ネットで悩んでいる人は
相談メールをご利用ください

飯田市ネットトラブル相談メール

shinpai@nistr.jp

受信制限している携帯・スマホからは、必ずメール設定で許可にしてください!



ELT に聞いてみよう!!

ELTとは?

ELT (English Language Teacher) は、子どもたちに生きた英語を学んでもらうため、市教育委員会が小中学校へ配置し、英語や外国語活動の授業において担任の先生の授業を補助しています。一般的には ALT、NLT と呼ばれています。



ミレク先生

飯田歴：6年
出身：ポーランド
【担当する学校】
月～火：飯田東中、水～金：飯田西中



Q. 飯田で働くことになったきっかけは?

幼いころ、黒澤明監督の作品でみた日本に魅了されました。大学で日本の近代史を研究し、駐日ポーランド大使館で働いた後、飯田に家族がいる妻と結婚し、環境の良い飯田で子どもを育てることにしました。

Q. 飯田の子どもたちの印象は?

とても行儀がよく明るい印象を持っています。実生活で英語を使う機会が少ないにもかかわらず、飯田の子どもたちは英語を学ぶことに驚くほど熱心です。

Q. 母国との違いや飯田にきて驚いたことは?

飯田へ来た当初に最も驚いたのが、教師と生徒の関係がよいことです。先生が生徒を教室から追い出したりすることはなく、一方生徒は皆、自分たちで給食を配ったり片づけたり、校内を掃除したり、りんご並木の世話をしたりしているといった、先生と生徒の姿がとても印象的です。

Q. 飯田のおすすめのスポットは?

天竜川の舟下りは外せません。道中、四季折々の渓谷美を堪能できます。そして「日本のチロル」と呼ばれる「下栗の里」もおすすめです。目の前に雄大な南アルプスを眺めながら山道を1時間ほど登ると、山里が広がる日本の原風景を眺めることができます。

山あいの「小さな小学校」の世界につながる「大きな挑戦」 ～小規模特認校・上村小学校の魅力ある学校づくり～

POINT 1

“複式学級”で自ら学ぶ姿勢と関わりあいによる豊かな学びを生みだしています!



異なる学年の児童が1つの教室で学ぶ複式学級

POINT 2

“表現”する力を育むための様々な活動が充実しています!



地区の文化祭でのミュージカル発表

POINT 3

大学や様々な専門機関の協力を得ながら、広がりや深まりのあるユニークな学習を進めています!



信州大学の学生との遠隔通信による外国語活動

POINT 4

保育園や規模の異なる小学校との交流により、コミュニケーションの力を育てています!



和田小との遠隔授業

飯田市教育委員会は、子ども・保護者・地域・学校・行政が力を合わせて「すべての子どもたちが輝く、地域に根ざしたオンラインの学校」を創ることを大きな目標にしています。そして、市内各小中学校では、この目標を実現するための魅力的な取り組みを、意欲的に行っています。

飯田市立上村小学校では、小規模特認校への指定(平成29年12月)を大きなきっかけとして「山あいの『小さな小学校』の世界につながる『大きな挑戦』」をスローガンにかかげて、9名の児童と彼らを支える先生たち、地域の皆さんとが手を携えて、小規模校であることのメリットを十二分に生かした「未来の教育」を創ろうとする、魅力ある学校づくりを進めています。

小規模特認校

本来は、通学区域は定められていますが、一定の手続きを行うことで、どこからでも通学することができる小規模の小中学校のことを言います。長野県内ではこれまで5校が指定されています。



保護者からのご相談コーナー

連載 教えて!先生

回答者は北澤正光先生
(教育支援指導主事) です。

Q 6年生の保護者です。4月から中学校へ進学するにあたり、学習面や家庭・学校での生活、新しい人間関係、中一ギャップなどたくさんの不安を抱えています。親としてどう見守り、子どもと接していけば良いのか教えてください。また、中一ギャップに直面した時、どのようにサポートしたらよいでしょう。

A 飯田市では、こうしたご心配を軽減するために、平成23年度から「小中連携・一貫教育」を全校で進めています。体験入学や交流学习などギャップ解消に取り組んでいますので、安心して進学してください。心配なことは小中学校へご相談ください。慣れ親しんだ人や場所から新しい環境へ移ることは大人でも不安をとまいます。一方、新たな出会いや生活により、人間関係力や学力・体力が伸長し、可能性が大きく広がります。進学は、今までの生活をリセットするチャンスです。適度な“壁”は子どもを伸ばすきっかけともなります。

“やる気、素直な心、元気な体”で進学できるよう、ご家庭でも“早寝・早起き・朝ごはん”で生活の土台を作り、学校の様子を話題にして支えていただければと思います。



保護者のみなさまからのご相談をお待ちしております!市ウェブサイトのメールフォームからお寄せください。→